

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2014-08-25

APM news 110

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)

長岡造形大学「博物館実習」in APM

実習者：竹下夏生

実習期間：6月6日(金)～13日(金)、7月2日(水)～6日(日)、12日(土)～13日(日) 計14日間 ※6月10日休館

実習時間：am11:00～pm5:00 ※変則日あり



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



今年度の学芸員資格過程における博物館実習は、長岡造形大学の4年生1名を受け入れた。実習時間を3期に分け、計14日間の長期に渡る実習となった。実習内容は、作品の額入れや収蔵作業等の作品の取り扱いを中心に、事務的な通常業務の他、7月12日に行った開館5周年記念式典の準備および当日の運営も実習に加え、実践的に行った。また、実習だけでなく、APMの活動理念や教育普及事業等についての講義時間も設けた。

作品の取り扱いの実習では、当館の作品管理システムの説明から入り、額入れ作業、収蔵作業を行った。当館の特徴である「ポスター」というデリケートな素材の扱いは、集中力や注意力を要し神経を尖らせる作業である。さらに、当館で使用している額は大きさと重量があり、ポスターも枚数が重なりと結構な重さとなる。それらを扱うには、それなりの力も必要である。精神と体力の両方を使う作業に、実習生は想像以上の大変さを実感したようであるが、最後まで気を抜くことなくしっかりと作業をやり遂げてくれた。美術館運営の実習の1つに、来館者対応も含まれる。来館者からの急な質問にも対応できるよう、予めAPMや展示内容に関する情報を理解している必要がある。実習期間中に行っていた展示は、第15回企画展「宮内・摂田屋百景展」であった。そこで、実習初日に周辺地域を巡り、地域および展示作品に関する理解を深めた上で実際の来館者対応を行った。

また、今年度は開館5周年記念式典という大きなイベントを控えていた為、その準備および当日の運営補助も体験してもらった。当日は、実習生以外にも長岡造形大学や多摩美術大学の学生、業者等の多くの人々が加わり協力して式典をやり遂げた。大多数の人が動く中で、自分が何をすべきかを考えて動くことが求められた。このような事は学芸員に限らず、社会では常に求められる事である。博物館実習という事に留まらず、今後の社会生活に向けての良い経験となったのではないだろうか。最終日に館長・秋山孝(多摩美術大学教授)による美術館の意義や資料の保存に関する講義を多摩美術大学大学院生と共に受け、今年度の博物館実習は終了した。(たかだみつみ・APM学芸員)